

## 2 悪態まつりが 4年ぶりに見物客受け入れ 12/17

愛宕神社の祭礼である「悪態まつり」が、4年ぶりに見物客を受け入れて開催されました。

このまつりは、神職と白装束をまとった13人の天狗たちが愛宕山の山麓から山頂にかけて16か所のほこらに餅などを供えるところに、「ばかやろう！」などの罵声を浴びせる光景から、日本三大奇祭の一つに数えられています。



山頂に着いた後に天狗たちから見物客へ餅や菓子がまかれました

## 3 ふるさと納税による 寄附をいただきました 12/18

東京と笠間の二地域居住を20年以上続けている<sup>ごとう かつひこ</sup>後藤克彦さんから、昨年に引き続き、ふるさと納税制度を利用して100万円の寄附をいただきました。

後藤さんは、前職のリサーチ業務などを活かして私塾「笠間塾」を平成28年に開催したり、市CCRC推進協議会の会長を務めるなど、市の発展のために多大なる協力をいただいています。

温かいご厚意に感謝します。



(左から) 後藤さん、山口市長

## 4 e-Taxでスイスイ確定申告を 12/20

スマートフォン(スマホ)を使った確定申告(e-Tax)の研修会を友部公民館で開催しました。

この研修会は、昨年度の確定申告書の控えを利用して、参加者自身のスマホからe-Taxの入力方法を学ぶもので、参加者一人ひとりにマンツーマンで、税務署や市の職員が案内しました。

税務署や市役所に出向くことなく確定申告ができるe-Taxを、皆さんもぜひご利用ください。



こんな出来事ありました

## 1 笠間市スクエアステップ 交流会を開催 11/10

笠間市スクエアステップ・リーダー会が主催する「笠間市スクエアステップ交流会」が市民体育館で開催され、市内40か所のサークルから約430名の会員の皆さんが参加しました。

当日はスクエアステップ以外にも、ダンベル体操やダンス等も実施され、皆さん一緒に楽しんでいました。また、交流会に招待された筑波大学教授の<sup>おおくら ともひろ</sup>大藏倫博さんから、90歳を超えても元気に参加している会員の皆さん約20名へ記念品が贈呈されました。

今後もスクエアステップを継続していくことで、転倒や認知症の予防につとめ、生き生きとした生活を送りましょう。



交流会の様子



研修会の様子

# 7 県指定有形文化財に指定

12/28



絹本着色阿弥陀如来来迎図

月崇寺（笠間市笠間）所有の「絹本着色阿弥陀如来来迎図」が茨城県指定有形文化財（絵画）に指定されました。

本図は、平織の絹に金色の阿弥陀如来立像が大きく描かれ、その右下方に描かれた檜皮葺きの建物内に複数の人物をのぞかせます。鎌倉時代の13世紀から14世紀の制作と考えられ、絵画として優れた作品で芸術的価値が高いことから今回の指定となりました。

※本図は現在一般公開されていませんので、所有者（月崇寺）への問い合わせはお控えください

# 5 子どもたちの健全育成を願って

12/21

市内の児童発達支援事業所や放課後デイサービス事業所を運営する10法人が、切れ目のない手厚い支援を行っていくための「笠間市児童発達支援連絡会」の発足式と、連絡会の構成団体による「災害時における相互支援に関する協定」の締結式が、市役所本所で行われました。

今後、連絡会で情報交換や研修等を行い、連携を深めていきます。



協定式の様子（一般社団法人アットホームバル、一般社団法人クオリティー・オブ・ライフ、合同会社健康、株式会社サンチュアリ、特定非営利活動法人瑞亨会、特定非営利活動法人たくみ、特定非営利活動法人双葉園、堀口工業合同会社、社会福祉法人木犀会、笠間市児童発達支援事業所「まるん」）※順不同

# 8 笠間台湾交流事務所が5年連続受賞

1/9

笠間台湾交流事務所が、台湾の農業部農糧署（日本の農林水産省に相当）から「2023年度農糧産品販売促進優秀企業団体」表彰を受けました。

同事務所は、笠間市内の学校給食へ台湾産の果物の提供を行い、その取り組みにより令和4年には県内8自治体、現在は県内18自治体の学校給食に拡大したことが評価されての受賞となりました。5年連続での受賞は同事務所が初めてです。

名誉な賞をいただき、ありがとうございます。



（左から）農糧署 胡忠一署長、笠間台湾交流事務所 木下知香所長

# 6 大谷翔平選手からのグローブが到着

12/25

アメリカ合衆国のプロ野球リーグ・メジャーリーグベースボールのロサンゼルス・ドジャースに所属する大谷翔平選手から日本全国の小学校へ寄贈されたグローブが、市教育委員会に到着しました。

学校の冬休み期間中は市役所本所ロビーに展示し、新学期開始にあわせて市内11の小学校・義務教育学校に届けられました。

大谷選手、ありがとうございます！



寄贈されたグローブ33個（1校あたり3個）

# 9

## 伝統の笠間市駅伝大会で ガバメントクラウドファンディング®を 初導入

1/14

県内から20校（女子21チーム、男子30チーム）が参加した「第61回 県下中学校交歓笠間市駅伝大会」で、ふるさとチョイスが提供するふるさと納税型ガバメントクラウドファンディング®（GCF®）を初めて活用し、目標額を大幅に超え多くの方々にご支援いただきました。

大会優勝は、女子の部が筑西市立下館南中（2連覇）、男子の部が北茨城市立中郷中（3連覇）。市内の学校は、女子では岩間中Aが5位、笠間中が6位に入賞。男子では友部二中Aが8位と健闘しました。

参加した生徒の皆さん、大会に協力・支援いただいた皆さん、ありがとうございました。



女子の部スタートの様子

### スポット ライト!

## 令和5年度 淑徳大学地域創生学部の 地域理解実習

笠間市と連携協定を締結している淑徳大学では、令和5年4月に、地域創生を体験的に学ぶ長期学外学習プログラムを導入した地域創生学部（埼玉キャンパス）を新たに開設しました。開設に伴い、笠間市をはじめとする全国の自治体を学外学習の場として、卒業までの4年間、現地で学習を行う「地域実習」（1・2年生は地域理解実習、3年生は地域創生実習）を行っています。

1年次から2年次にかけての地域理解実習では、「地方創生の取り組み」「文化」「産業」「地域資源」の4つをテーマに各2回ずつ（全8回）、市内を訪問し、見学・体験します。

今年度は計6回の実習が実施され、市の取り組みである廃校活用、スポーツによる地域振興、公共交通、歴史、農業、企業誘致・商工業の政策、石材業、窯業など幅広い観点から笠間市について学びました。どの現場でも積極的に質問が出て、活発な意見交換が行われていました。

1年生の皆さんからは、「訪問するたびに新しい発見があり、今まで知らなかった笠間市に触れられてとても良かった」「笠間に愛着をもつことができた」という声をいただきました。

来年度は、実習に来ていた皆さんは2年生になって残り2回の実習を実施するとともに、新1年生が新たに実習に取り組み、さらに笠間市について学びを深めながら、大学内外で笠間市を発信していきます。

### テーマ：地域の実態を学ぶ

6/30



門フェスで台湾文化体験

笠間市の地方創生について講座を受講。道の駅かさま・旧東中学校（(株)茨城県民球団）・旧東小学校（(株)メニコン）・門フェスを視察

7/14



シェアサイクルで周遊

笠間市のスポーツによる地域振興・公共交通について講座を受講。かさま観光周遊バス・シェアサイクルに乗りして市内周遊

### テーマ：伝統文化・文化活用を学ぶ

10/6



歴史民俗資料館を見学

市立歴史民俗資料館を見学。笠間稲荷門前通りのまちづくりや笠間城跡の調査と保存について講座を受講。笠間城跡を視察

10/13



大根の生育について学ぶ

笠間クラインガルテンの運営・笠間市の農業・栗の取り組みについて講座を受講。（有）ナガタフーズを見学

### テーマ：地域産業・地域企業の意義や取り組みを学ぶ

12/22



石を切り出す現場を見学

笠間市の企業誘致政策と商工業政策について講座を受講。石の百年館と友常石材(株)を見学

1/12



ろくろ体験に挑戦

県立笠間陶芸大学校で後継者育成・技術支援・笠間焼の成り立ちや技法について講座を受講。ろくろを体験